

令和3年度 熊本県立天草拓心高等学校
「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」

第2回コンソーシアム会議
「マザー・サークル会議」説明資料



地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

I 令和3年度研究計画



地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

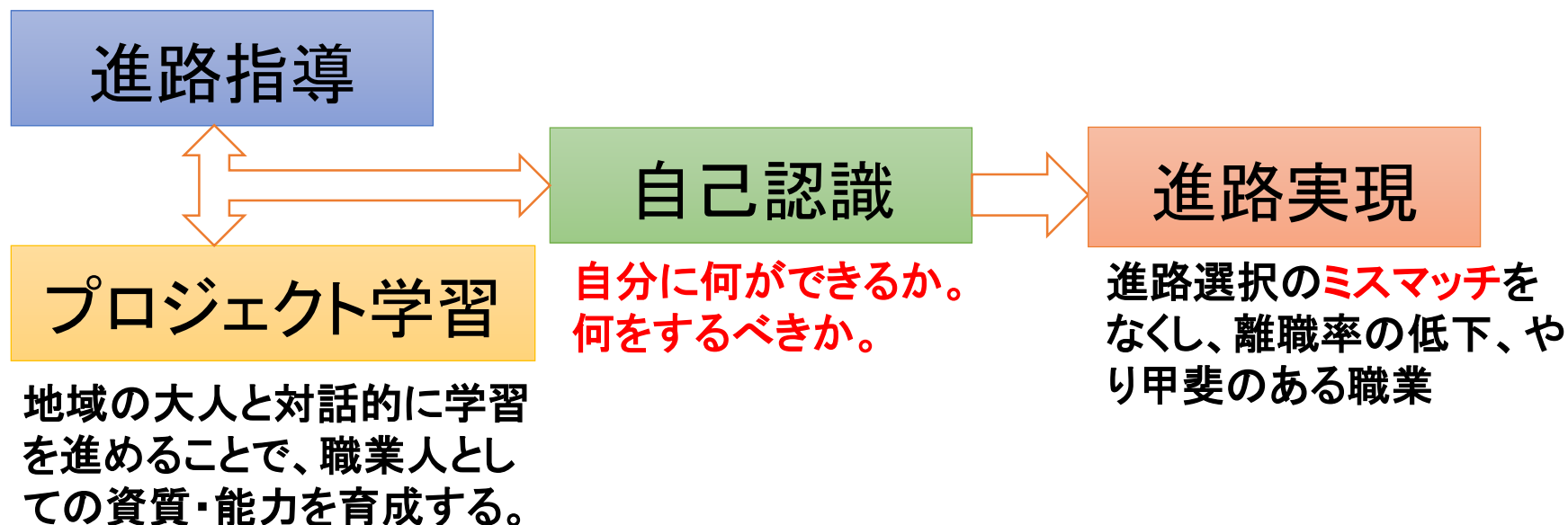
1 今年度の重点目標

- (1) 天草を変革するための具体的方策を地域と共に形にする。
- (2) 起業及び就農のための学習を強化する。
- (3) グローバル課題(SDGs)と関連付けた地域課題の学習
- (4) これまでの学習の成果を形にする。(各種コンテスト等への挑戦・メディアへのPR等)
- (5) AOLA(天草拓心版オーダーメイド学習評価法)を完成させる。



2 具体的取組

(1) 天草を変革するための具体的方策を地域と共に形にする。



令和元年度から進めてきた学習について、学習の記録等を通して自己認識に繋げる。また、プロジェクト学習の成果を形にすることで、キャリアアップの基礎としていきたい。



地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

2 具体的取組

(2) 起業及び就農のための学習を強化する。



プロジェクト学習

起業

起業家との連携・協働を進め、地域でできる商売の基本的な方法論について学習する。

就農

OB・地元農家との連携しながら、就農の魅力や方法等を実践的に学習していく。

経営シミュレーション

現在、取組んでいるプロジェクト学習の内容について、ビジネスプランの作成及び各種コンテストへの挑戦等



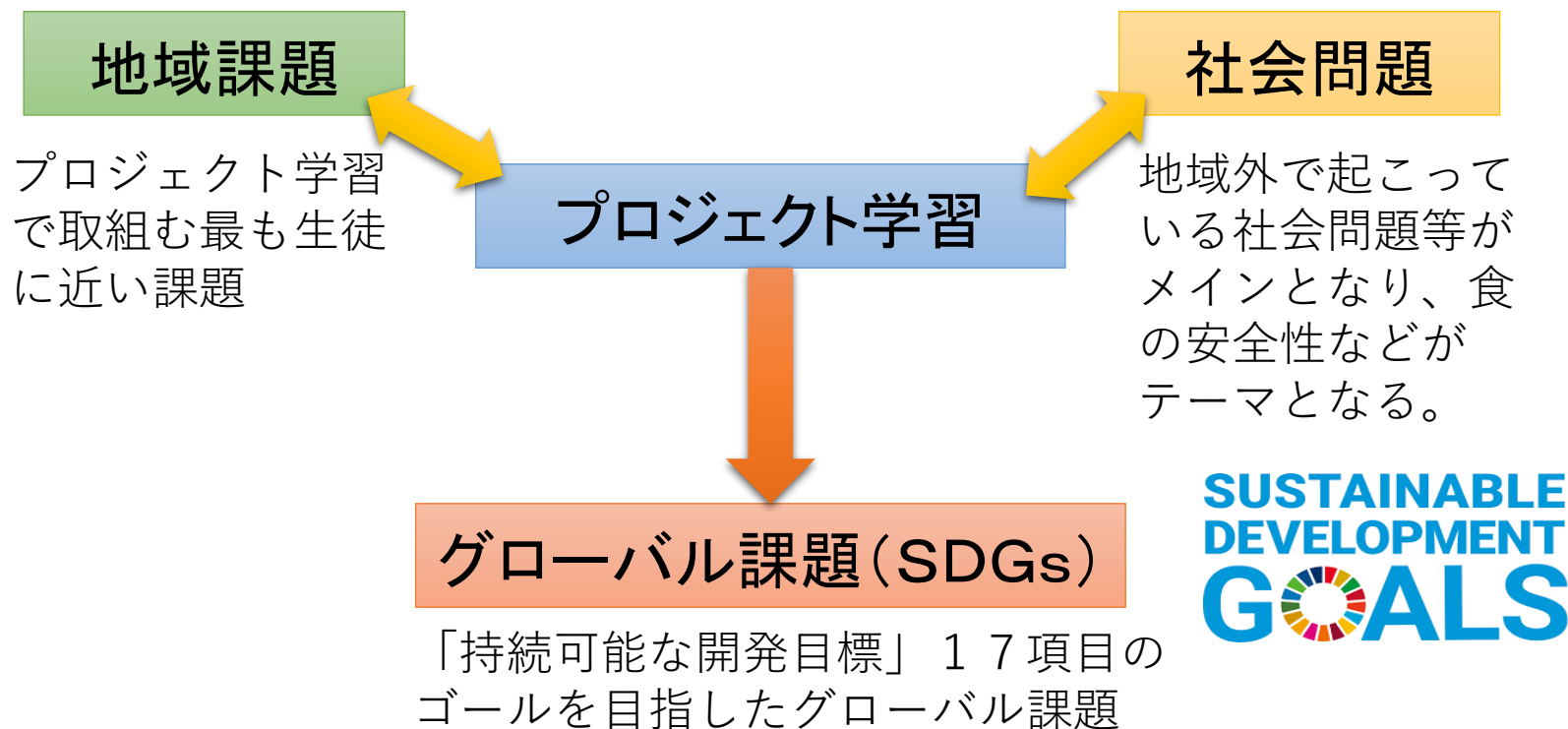
地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

2 具体的取組

(3) グローバル課題 (SDGs) と関連付けた地域課題の学習



2 具体的取組

(4) これまでの学習の成果を形にする。

プロジェクト学習の取り組みによる成果を、メディアへの発信や高校生対象の各種コンテストに挑戦する。

文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(プロフェッショナル型)」プロジェクト研究計画一覧(令和3年度計画)

| 実施校 | グループ | テーマ | ステージ別によるプロジェクト研究計画 | 令和3年度目標 | 最終目標 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------|---|--------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 熊本県立天草拓心高等学校 | 1組 | 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(プロフェッショナル型)」プロジェクト研究計画 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 令和3年度目標 | 最終目標 | | |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |
| | | | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 | ●地域連携の推進 |

全国高校生対象コンテスト等

| | 主催団体 | 大会名等 | 備考 |
|----|----------------------|-------------------------|-------|
| 1 | 日清製粉グループ | 全国高校生料理コンクール | |
| 2 | 日本経済大学 | 全国高校生ビジネスアイデアコンテスト | |
| 3 | 全国農業協同組合中央会、毎日新聞社 | 全国高校生農業アクションコンテスト | |
| 4 | 日本政策金融公庫 | 高校生ビジネスプラン・グランプリ | |
| 5 | NEXT TOURISM | 観光甲子園 | |
| 6 | 伊豆の国市役所農業商工課 | 全国高校生バンコンテスト | |
| 7 | 日本経済新聞社 | 日経エデュケーションチャレンジSpecial | |
| 8 | 一般社団法人ナレッジキャピタル | ナレッジイノベーションアワード | |
| 9 | 株式会社マイナビ | 課題解決PJ | オンライン |
| 10 | 一般社団法人未来教育推進機構 | SDGs探究AWARDS | |
| 11 | 内閣府地方創生推進室 | 地方創生☆政策アイデアコンテスト | |
| 12 | 地方創生ワカモノ会合事務局 | SDGsまちづくりアイデアコンテスト | |
| 13 | 福井県農林水産部 | 全国高校生食育王選手権大会 | |
| 14 | 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本 | 高校生のためのソーシャルビジネス企画コンテスト | |
| 15 | 産経新聞社 | スイーツ甲子園 | |
| 16 | 桜美林大学 | 高校生ビジネスアイデア・コンテスト | |
| 17 | モンドセレクション | 品質ワールドセレクション | ラベル認証 |

2 具体的取組

(5) AOLAを完成させる。

※AOLA(天草拓心版オーダーメイド学習評価法)

令和2年度までの成果として、ルーブリック評価、アンケート評価、ポートフォリオ評価による生徒の変容を捉えてきた。

令和3年度に取組むこと

AOLAを完成させるために、ルーブリック評価を各教科へ落とし込み、生徒による目標設定を明確にした上で授業での生徒の変容を捉えていく。今年度中の完成を目指す。



地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

1 資料集作成の目的

※会議資料P7

- (1) 生徒の学習の補助教材として作成
- (2) 一年次に地域理解及び地域課題の発見に繋がりたい。
- (3) 教科書・インターネットでは得られない情報がほしい。
- (4) 資料を用いて、興味・関心を得たことを課題研究型学習に繋がりたい。
- (5) コンソーシアム全体で共有し、人材育成のために作成することが大切となる。



地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

2 資料集の概要

作成例(カテゴリ別)

- (1)表紙・目次
- (2)地域の概要(人口の推移、農業人口、農業産出額など)
- (3)地域の特産物・文化・風土・環境
- (4)農業資源
 - ア 野菜
 - イ 草花
 - ウ 果樹
 - エ 畜産
 - オ 作物(水稲)
- (5)加工品等
 - ア 食品加工
 - イ 工芸品等
- (6)福祉・保育等
- (7)先端技術(スマート農業等に関する資料)
- (8)ビジネス・企業・起業(※補助制度や相談機関など含む)
- (9)観光
- (10)地域の課題と魅力のまとめ



地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

2 資料集の概要

資料集作成のポイント

(1) 共通理解事項

ア 生徒が授業の中で使用する資料集

イ ローカル・サークル委員は地域内部の情報提供

ウ マザー・サークル委員は地域外の社会情勢やグローバルな情報、地域外から見た天草の魅力等を資料及び助言等の提供



2 資料集の概要

資料集作成のポイント

(2) 資料の使い方

ア 一年次に興味・関心を持たせる資料として使用したい。(昨年度からの課題事項)

様々な面で課題を抱える生徒

地域・農業への興味・関心を高める材料として使用し、地域課題解決への糸口としたい。



2 資料集の概要

資料集作成のポイント

(2) 資料の使い方

イ 二年次から三年次に掛けて実践した課題解決型学習のノウハウ等を資料にブラッシュアップさせ、更に次年度の新入生に提供する。資料集をとおして、地域ぐるみでPDCAを回すことに繋げる。

就農方法や課題解決型学習の実践例、地域農業の課題、社会情勢、グローバル課題など、最新の情報を年度ごとに盛り込んでいく。

2 資料集の概要

資料集作成のポイント

(2) 資料の使い方

ウ 資料の作成

(ア)作成は、会議資料P9のフローに沿って実施していく。12月までに資料集の形を作る。

(イ)コンソーシアム会議では、**委員の立場から「生徒に理解してほしいこと」、「今後、職業人として必要になること」**などのカテゴリを厳選し、意見を出した上でまとめていきたい。



3 ローカル・サークル会議議事より

※会議資料P9

4 委員からの指導・助言

(1) プロジェクト学習の内容を盛り込んだ方がよい。
グローバル課題であるSDGsの内容を入れる。

(2) 就農する生徒のために、天草管内の農家収支
等を入れるとよい。

(3) 専門分野ごとに担当者と連携して資料を持ち
寄ればスムーズにできる。

(4) この資料集は高校生や地域の宝となる。早めに役割
分担をした方がよい。

(5) どこまで載せるのかを明確にする。農家の生徒がいな
い現状で、興味・関心を持たせることが大切である。



地域の未来を拓く学校でありたい



熊本県立天草拓心高等学校

3 ローカル・サークル会議議事より

※会議資料P9

5 校内の対応 (4) 構想フロー

